

事業報告書

1 支援団体名	NPO法人アシスト・パル・オオイタ
2 事業名称	大分川ダムフラワー大作戦
3 実施日時	平成28年4月1日～平成29年3月31日
4 実施場所	大分県大分市大字下原
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>12年目となった大分川ダムフラワー大作戦。地元10団体、応援4団体、主作業回数6回、参加者数延べ385名で安全に滞りなく作業を終了。ダム建設の完成も視野に入り地元参加者にも希望と様々な期待が交錯し今後に繋がる地域活性化案が持ち上がるようになった。昨年からの子育て世代が増えて作業の段取りも初心者用に植栽指導からダム完成のイメージ等説明する。</p> <p>5月21日 夏の作業準備(枯草除去と整地作業)</p> <p>5月28日 植栽作業と展望台周辺ゴミ拾い(花苗392ビオラ、サルビア等他サツマイモ苗4種植え、ビニール張り、枯草焼き整備)</p> <p>7月23日 枯れ花摘み、水やり、のり面草切り、植樹地の下草刈り1回目</p> <p>9月10日 枯れ花摘み、水やり、のり面草刈り、植樹地の下草刈り2回目</p> <p>10月29日 秋の作業準備(枯れ葉の除去、縁石ならべ)</p> <p>11月12日 秋の植栽と芋収穫、土壌改良(肥料等)整地作業(花苗504ナゲシコ、ノースポール、ストック、キンセンカ、ビオラ等)</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の達成感と価値観の認識 ダム建設と併行して里山作業を継続したことに参加者が地域貢献と活性化への将来像を語る事ができている。 ・世代間の自然交代 当初の高齢者から30代の子育て家族が増加傾向にある。 ・大分川ダムの進捗状況の認知度アップ 里山作業継続による。 ・建設現場の見学者増加 ダム完成が視野に入り、展望台に立ち寄る人たちが増えているがゴミ・空き缶も目立つようになって困惑(標示物で対処)
6 参加内訳	総人数 385名
	(1) 主催者参加 74名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 311名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 0名
7 今後の方針	<p>緑の観光ルート創造 ダムを起点とした緑のツーリングルート開発、国内外の健康志向、ナチュラル派を対象に観光振興を目指す。ダム周辺7キロに桜と紅葉の植樹を行い同時に育成・整備を地元団体とともに実施。周辺自治体の過疎化は顕著であることから中長期的に大分市、豊後大野市、竹田市から熊本産山、阿蘇へと連携して着地型観光を目的に地域経済の発展と次世代育成。</p>

5月21日 草取り



5月28日 さつまいも苗植え



10月29日 縁石ならべ



花植え後



さつまいも掘り



参加者

